

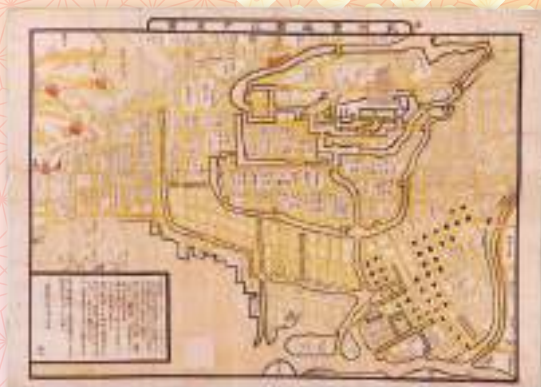
江戸の

地誌・絵図

令和7年度東京都公文書館夏企画展

その系譜をたどる

入場無料



武州豊島郡江戸庄図



江戸名所図会第二 三河万歳



江戸図鑑綱目(坤)



「江戸雀」巻三 堺町の図(芝居)

開催日程

令和7年 7月18日(金) ▶ 9月16日(火)

9時～17時(最終入場16時30分) / 休館日: 日曜・祝日・第三水曜日(8月20日)

開催場所

東京都公文書館企画展示室

常設展示室内ミニ企画コーナー アーカイブウォール



東京都公文書館
TOKYO METROPOLITAN ARCHIVES

〒185-024 東京都国分寺市泉町2-2-21
<https://www.soumu.metro.tokyo.lg.jp/01soumu/archives/>



江戸時代は地誌と絵図の作成・普及がおおいに進んだ時代でした。

新たな支配体制を固めた幕府や大名は、領分の地理・地勢・歴史を把握するために地誌の編集や絵図の収集・作成に努めました。一方で戦乱の世が治まると、参勤交代による支配層の移動はもとより、閉ざされた居住地域を超えて移動する人々は広がりを見せ、地理ガイドや名所記、携帯用の絵図などが流通していききました。

19世紀に入ると幕府により本格的な地誌編さん事業が開始され、その参考として多くの地誌や絵図が収集されました。これらの資料群には「編脩地誌備用典籍」という蔵書印が捺されていますが、この内武蔵国、とくに江戸を中心とした地誌・絵図の一部が東京都公文書館に引き継がれています。

今回の企画展では、これら当館所蔵の地誌・絵図を中心として、江戸とその周辺を対象とした地誌・絵図の展開過程を、時代を追ってご紹介していきます。都市江戸の発展、都市文化の成熟と関わりながら変化していく地誌・絵図のすがたを、系譜的にご観覧いただける構成となっています。

- 構成
- I 江戸時代前期の地誌・絵図 ～ 名所記の自立、大判江戸図の成熟
 - II 江戸幕府の地誌編さん事業と「御府内備考」
 - III 江戸時代後期の地誌・絵図 ～ 名所図会の完成、分割絵図の普及

関連講演会

開催日

令和7年

9月2日

13:30～

(受付開始 13:00)

会場

東京都公文書館研修室

- 講師：鈴木 章生（目白大学社会学部教授）
「近世地誌の系譜 - 江戸の地誌は何を記し、何を伝えたか」
- 講師：西木 浩一（東京都公文書館史料編さん担当）
「江戸絵図の系譜」

● 募集人数：60名

参加費無料



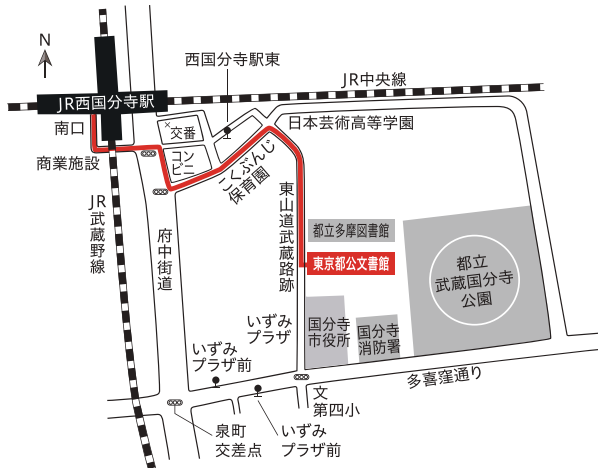
詳細は、
東京都公文書館
ホームページ、
SNSにて
お知らせします。

交通機関

- JR 中央線・武蔵野線「西国分寺」駅 —— 徒歩約 8 分
- 京王バス(寺 85 系統)「いずみプラザ前」 —— 徒歩約 4 分
- ぶんバス(万葉・けやきルート、北町ルート、日吉町ルート)
「国分寺市役所」 —— 徒歩約 1 分

来館についてお願い

ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。
車・バイクで来られる方は近隣の駐車場をご利用ください。
なお、身体障害者用の駐車スペースをご用意しています。
自転車は、駐輪スペースをご利用ください。



東京都公文書館
TOKYO METROPOLITAN ARCHIVES

〒185-024 東京都国分寺市泉町2-2-21

<https://www.soumu.metro.tokyo.lg.jp/01soumu/archives/>

